九都県市同時発表
埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、
横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

潤水都市 さがみはら

令和８年１０月２１日
相模原市発表資料

第９０回九都県市首脳会議及び令和８年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰の開催について

標記の件について、次のとおり開催しますので、お知らせいたします。

１　第９０回九都県市首脳会議

（１）日　　時　　令和８年１０月２９日（木）
午後１時３０分から午後３時４５分まで（予定）

（２）会　　場　　パーティールームbyMONDO　フェニックスⅡ・Ⅲ
（相模原市南区相模大野３丁目８番１号
相模大野ステーションスクエアＢ館ホテル棟８階）

（３）主 な 議 題　　・各首脳からの提案等に係る意見交換
・地方分権改革の推進に向けた取組の協議
・福島県支援について

（４）会議の公表　　首脳会議は報道関係者へ公開（フルオープン）します。

（５）結果の公表　　確定した要望文等を含む結果概要を九都県市首脳会議公式Ｗｅｂサイト（https://www.9tokenshi-syunoukaigi.jp/）へ掲載いたします。（確定次第速やかに掲載予定）

（６）出席予定者

埼玉県知事	大野　元裕
千葉県知事	熊谷　俊人
東京都副知事	佐藤　智秀
神奈川県知事	黒岩　祐治
横浜市長	原澤　敦美
川崎市副市長	三田村　有也
千葉市長	神谷　俊一
さいたま市長	清水　勇人
相模原市長	本村　賢太郎（九都県市首脳会議座長）

２　令和８年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰

九都県市首脳会議では、首都圏の優れた企業・団体等及びその産業技術を「九都県市のきらりと光る産業技術」の名称で、首都圏共通の財産として表彰し、紹介しています。

（１）日　　時　　令和８年１０月２９日（木）
午後０時４０分から午後１時１５分まで（予定）

（２）会　　場　　パーティールームbyMONDO　フェニックスⅠ
（相模原市南区相模大野３丁目８番１号
相模大野ステーションスクエアＢ館ホテル棟８階）
表彰式終了後、各首脳によるパネル視察を会場前のホワイエにて行います。

（３）表彰式の公表　　表彰式及びパネル視察は報道関係者へ公開します。

（４）表彰企業一覧　　別紙１「令和８年『九都県市のきらりと光る産業技術』表彰企業一覧」のとおり

３　事務局問い合わせ先

（１）第９０回九都県市首脳会議について
相模原市市長公室政策部**広域行政課**　課長　河本
電話　０４２－７６９－８２４８

（２）令和８年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰について
相模原市環境経済局経済部**産業支援・雇用対策課**　課長　榎本
電話　０４２－７０７－７１５４

問い合わせ先　広域行政課
電話：０４２－７６９－８２４８

別紙１

令和8年「九都県市のきらりと光る産業技術」表彰企業一覧

	製品・技術の名称 企　業　名	製品・技術の概要
埼玉県	医療補助ロボット向けディスポーザブル マイクロ鉗子ユニットの開発 株式会社入曽精密	今後、市場拡大が予想される医療補助ロボット分野では、機材を媒介にした感染症防止とコスト低減の両立が急務です。そこで㈱入曽精密が開発した複雑微細部品の切削加工を大幅に効率化する段取り替えロボット“ORIGAMI”等を活用し、医療補助ロボットのアーム先端の鉗子部品をディスポーザブル化しました。 特徴１：鉗子部品を安価に製造し、ディスポーザブル化を実現しました。 特徴２：優れた機能・精度を持つ鉗子を容易に製作できるようになりました。
千葉県	溶け込み深さモニタリング装置「NWA-1」 株式会社NISHIHARA	レーザ溶接時の溶接音をマイクで記録し、溶け込み深さと相関のある周波数帯を抜き出して、溶け込み深さを推定できる機器です。 通常、溶け込み深さの測定は、溶接したものを切断する必要があり、全製品をチェックすることはできませんが、本製品では、非破壊、非接触での確認が可能なことから、全製品のチェックが可能です。 また、従来の光により溶け込み深さを推定する技術を導入する場合は、測定機器を備えた専用の溶接加工機械が必要になるところ、本機器は企業に既に導入されている溶接加工機械に後付けできます。
東京都	外科手術AIシステム「EUREKA」 アナウト株式会社	手術支援ロボットや内視鏡の画像をリアルタイムに解析する外科手術AIシステムです。AI が神経、血管、膵臓などの臓器や、臓器と臓器の間にある疎性結合組織の位置や領域を推定し、元の画像に重ねてピクセル単位で強調表示して医師の視覚を補助します。 製品の特徴は、①進行中の手術の妨げとならない繊細で透過的な表示技術②解析する画像の医療機器メーカーを問わない広い汎用性③特別な装置や薬剤投与が不要の簡便性の3点になります。
神奈川県	接触媒質が要らない超音波プローブ「乾探」 ジャパンプローブ株式会社	超音波を使った非破壊検査に於いて、これまで必要だった接触媒質（水、ジェル他）を使わない検査・計測を可能としました。 接触媒質の塗布、拭き取り・乾燥が不要なので； ①水を嫌うEV車用電池の検査にも使用でき ②タンク・橋梁検査ではドローン搭載も容易で、足場の設置・撤去が不要 ③インライン用途では検査ロボットへの搭載も容易で、人・物含めた生産効率が改善 新たに、濡らさず・汚さず超音波で「かんたん」な非破壊検査を提供します。
横浜市	平面波制御による次世代ラインアレイスピーカー 株式会社ドリーム	DSP搭載アンプと平面波スピーカーを一体化した音響システムです。従来のスピーカーでは音が届きにくかったエリアにも、明瞭で聞き取りやすい音声を届けることができます。各モジュールの音量や指向性は個別に制御でき、タブレットPCから直感的に設定・運用が可能です。縦設置では上下方向、横設置では水平方向の音の広がりをプログラム制御により最適化できます。また、モジュールを連結することで距離に応じた音圧の均一性を維持しながら遠方まで高精度に音を伝送し、用途に応じた細かなビームステアリング制御を実現します。
川崎市	精密同軸コネクタ「KPCシリーズ」 株式会社川島製作所	弊社のコア技術であるコネクタの部品加工に加え、自社グループ内で施せるめっき技術や、自社保有の高周波測定設備による組立後の電気特性の測定保証など、工程を一切外部委託せず社内一貫生産体制を構築し、量子コンピュータ分野等で用いられる絶対零度付近の極低温環境下においても信号が途切れない安定した性能を維持できるコネクタを製作しています。なお、本製品については、経済産業省HP内の資料において、量子コンピュータを構築する上での重要な部品の一つとして位置づけられています。
千葉市	WONDER GRIP® 株式会社ウィード	「WONDER GRIP®」は、耐切創規格を始め、最新の欧州安全規格に準拠した「安全性能」と独自の加工技術による優れた「操作性」を高次元で両立した作業用・安全手袋です。 相反しがちな「安全性能」と「操作性」を両立した本製品は世界約30か国の様々なものづくりの現場で使用されています。 独自の特殊すべり止め技術による水や油に濡れた環境下でも優れたグリップ力、人間工学に基づく独自の成形設計による高いフィット感及び防水性や耐油性等現場環境に合わせて付加するコーティング加工技術により様々な現場に最適な製品を提供しています。
さいたま市	最先端設備と職人技を融合させた 高精度な抜型加工技術 コンゴーテクノロジー株式会社	顧客の漠然とした構想や要望を具体的な形に落とし込み、50点以上のパーツを組み合わせた高度かつ複雑な紙什器についても、自社独自の設計力により提案まで一貫して対応しています。設計したCADデータと自社開発した基幹システムを連携させ、約20種類の自動機を効率的に運用することで、業界では突出した生産性を誇ります。 自動化が難しいアセンブリ作業（板に刃を組み付ける作業）や、刃の微調整曲げ作業等では、独自の技能検定制度を運用し、社員の技術の研鑽にも努めております。
相模原市	次世代軽量フレキシブル太陽電池技術 株式会社PXP	従来のシリコン製太陽光パネルの「重い・硬い・割れやすい」という弱点を克服し、カーボンニュートラルの実現に向けた設置場所のパラダイムシフトを起こす革新的な技術として注目されています。 1. コア技術：「タンデム型（二重構造）」による高効率化 2.圧倒的な「軽さ」と「柔軟性（フレキシブル）」・過酷な環境に耐える「超高耐久性」・優れた環境性能（低カーボンフットプリント） 3.「発電・蓄電・給電」の一体化技術

九都県市首脳会議のあらまし

1　構成員

埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の知事並びに横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市の市長

2　設立年月日

昭和 54 年 7 月 26 日（六都県市首脳会議として発足）
平成 4 年に千葉市長が加入し、七都県市首脳会議となる。
平成 15 年にさいたま市長が加入し、八都県市首脳会議となる。
平成 22 年に相模原市長が加入し、九都県市首脳会議となる。

3　会議の目的

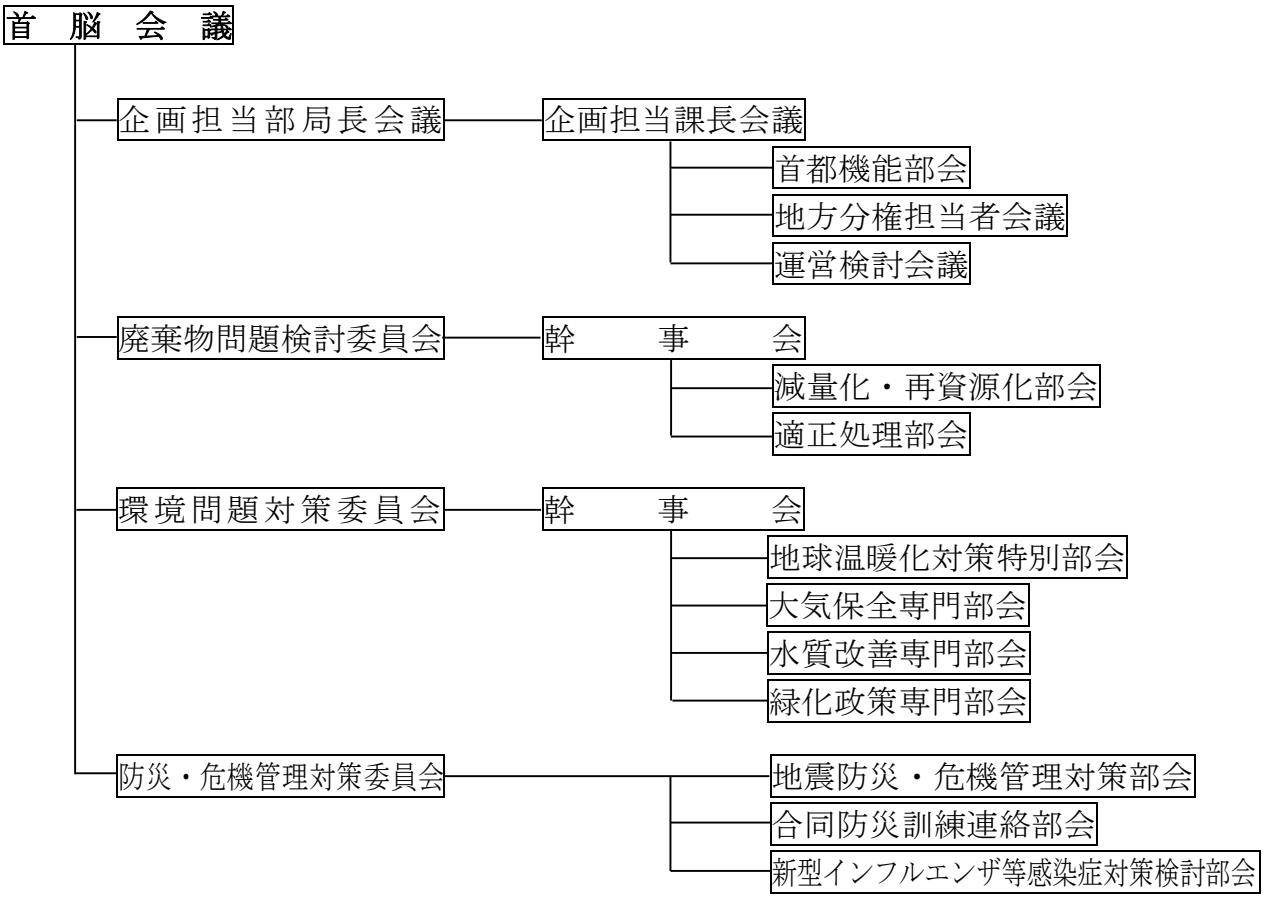
九都県市の知事及び市長が長期的展望のもとに、共有する膨大な地域活力を生かし人間生活の総合的条件の向上を図るため、共同して広域的課題に積極的に取り組むことを目的としています。

4　組　織

首脳会議の下に、担当部局長で構成する委員会等を設置するとともに、その下に担当課長や実務担当者で構成する幹事会、部会等を設置し、首脳会議の運営や広域的課題に関しての具体的な調査・検討・事業等を行っています。

また、首脳会議において協議し、集中して検討を行うことを決定した項目については、首都圏連合協議会で検討を行っています。

【九都県市首脳会議 組織図】



5　広域的な取組の必要性

首都圏は、全国人口の約３割を擁し、我が国の政治、経済、文化の中心をなすとともに、大都市圏として一つの地域社会を形成しています。しかし、この地域への人口の集中や諸機能の集積による都市化の進展により、個々の都県市の範囲を超えた広域的に対応すべき様々な課題が生じています。このため、広域化した諸課題の解決に向けて、九都県市が協調した取組を進めることが必要となっています。

6　期待される役割等

地方分権の進展や広域的課題の複雑化・多様化とともに、自治体間の連携・協調した取組のシステムとして、また自治体間の調整のシステムとして、九都県市首脳会議の役割はますます重要になってきています。

九都県市は、そのような役割を果たしつつ、今後とも首都圏における広域的な諸課題の解決に向けて、協調した取組を進めるとともに、まちづくり等において共同・連携した対応を図るなど、協調して広域行政を推進していきたいと考えています。

7　最近の首脳会議における活動の状況

令和５年（秋）

・地方分権改革の実現に向けた要求
・水素社会の実現に向けた取組の推進について要望
・クビアカツヤカミキリによる被害の防止に向けた取組の検討について合意
・放課後児童クラブの整備と質の向上について要望
・マンションにおける防災力の向上について要望
・農地及び農林業用施設の災害復旧のための支援の拡充について要望
・介護保険制度の安定的な運営に向けた財政基盤の強化等について要望
・新興感染症対策への実効性ある支援について要望
・緑地保全制度の拡充について要望

令和６年（春）

・地方分権改革の実現に向けた要求
・能登半島の復興を支援する共同宣言
・大規模地震時の木造密集市街地をはじめとした火災・延焼対策等の推進ついて要望
・みどりによる地域価値の向上に向けた取組の検討について合意
・社会的養護を必要とする子どものための養育環境の充実に向けた支援について要望
・代替フロン排出削減対策の徹底に向けた取組の検討について合意
・３次元点群データ取得・更新に向けた補助制度の拡充について要望
・マンションにおける管理の適正化について要望
・広域道路ネットワークの早期整備について要望
・公立学校及び公立病院における建設物価の高騰に対する支援について要望

令和６年（秋）

・地方分権改革の実現に向けた要求
・電気自動車等の普及に向けた支援の拡充について要望
・円滑な物流の確保等に資する高速道路網の有効活用の推進について要望
・中小企業の持続的な賃上げ実現に向けた価格転嫁の円滑化に関する取組の検討について合意

・更生保護活動における民間協力者への活動支援について要望
・少額随意契約における上限額の見直しについて要望
・大規模災害からいのちを守る防災ＤＸの推進について要望
・路線バスの維持確保に係る支援について要望
・幼児教育・保育人材の確保及び定着に向けた支援について要望

令和７年（春）
・地方分権改革の実現に向けた要求
・インターネット上のヘイトスピーチの解消に向けた取組について要望
・無電柱化の推進に向けた支援等について要望
・医療的ケア児・者への支援の充実について要望
・標準準拠システムへの計画的かつ円滑な移行及び移行後の継続的な運用を図るための支援について要望
・病院の経営危機への対応について要望
・不登校児童生徒の多様な学びの場の確保と支援の充実について要望
・盛土規制法の規制開始に向けた取組の検討について合意
・働く女性の活躍推進に向けた取組の検討について合意
・都道府県域を超えた広域連携の新たな枠組みの検討に向けた九都県市首脳会議の提言について合意

令和７年（秋）
・地方分権改革の実現に向けた要求
・ＡＩガバナンス構築に向けた対応について要望
・人材紹介会社による看護職員等の紹介手数料への対応について要望
・公園・緑地及び学校敷地内の樹木並びに街路樹における倒木等への対策について要望
・カーボンニュートラルの今後の取組への支援について要望
・持続可能な航空燃料（ＳＡＦ）の利用促進並びに原料となる廃棄物及び廃食用油の活用について要望
・地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備に係る地域の実情に応じた支援について要望
・水道施設の老朽化対策及び耐震化の支援の拡充について要望
・「朝の小１の壁」の解消について要望
・学校部活動の地域展開等の推進に係る支援について要望
・福島県の復興を支援する共同メッセージ

令和８年（春）
・地方分権改革の実現に向けた要求
・民泊制度の適正化について要望
・防犯対策強化に係る取組への支援について要望
・都市農地の贈与税・相続税納税猶予制度の拡充について要望
・自動運転バスの社会実装に向けた支援について要望
・次世代型太陽電池の早期社会実装に向けた支援について要望
・適切な出入国在留管理の徹底について要望
・物価高騰対策等の実施方法について要望
・火葬場の適切な整備・経営等を確保するための制度的対応について要望

８　事務局及び問い合わせ窓口

（１）事務局（開催担当都県市）

会議の事務局は、１年単位（暦年）の持ち回りで各都県市が担当しています。
令和８年は、相模原市が事務局となっています。
（首脳会議の座長は、開催担当都県市の長が務めます。）

（２）問い合わせ窓口

問い合わせ先	電話番号
埼玉県 企画財政部 企画総務課	048-830-2117
千葉県 総合企画部 政策企画課	043-223-2207
東京都 政策企画局 政策部 渉外課	03-5388-2709
神奈川県 政策局 自治振興部 広域連携課	045-210-3152
横浜市 政策経営・国際戦略局 大都市制度推進本部室 大都市制度・広域行政部 広域行政課	045-671-4082
川崎市 総務企画局 都市政策部 広域行政担当	044-200-0057
千葉市 総合政策局 総合政策部 政策調整課	043-245-5056
さいたま市 都市戦略本部 都市経営戦略部	048-829-1033
相模原市 市長公室 政策部 広域行政課	042-769-8248